

# きびん

No.02  
2011.7  
July



社会福祉法人 済生会  
済生会吉備病院



平成23年5月  
済生会は  
創立100周年を  
迎えました

## 理念

地域に親しまれ、信頼される病院

## 基本方針

- 1.患者さんの権利を尊重し、済生の心でまことの医療奉仕につとめます。
- 2.地域の医療機関や福祉施設との連携のもとにリハビリテーションを重視した早期の社会復帰を支援します。
- 3.本院と連携し質の高い医療を提供します。
- 4.安全で快適な療養環境を提供します。
- 5.職員の創意を生かし、患者さんと職員の満足度の向上につとめ、運営の持続的安定を目指します。

## 地域医療と皆様をつなぐ広報紙コミュニケーション

TAKE FREE ※ご自由にお持ちください。

済生会吉備病院は  
早期の社会復帰を支援する  
病院です！



●特集

# 済生会吉備病院は リハビリを頑張っている病院です!

済生会吉備病院は「回復期リハビリテーション病院」と「一般病院」の2つの機能を持った病院です。今回は、「回復期リハビリテーション」について紹介したいと思います。



済生会吉備病院 副院長 坪井 雅弘

## 副院長に聞いてみました。

### 1, 回復期リハビリテーションとは どのようなものなのでしょう?

身体機能を早期に改善するためのリハビリをいいます。すなわち病気になる前は、先ず「急性期病院」で病気の治療を受けます。そこで、手足の障害や言語障害や認知障害等が残っている場合、次に回復期リハビリテーション病院に転院して、集中的にリハビリを受けて身体機能の改善を図ります。このような時期に受けるリハビリのことを「回復期リハビリテーション」といいます。(図)

### 2, 回復期リハビリテーションの対象 になる病気とはどのようなもの でしょうか?

①脳血管障害、脳外傷などの脳の病気、②運動器疾患(骨折、神経・筋肉・靭帯の損傷)、③廃用症候群(外科手術や肺炎の治療で、手足の筋力低下を来した場合)これらの病気で、障害が残った場合に回復期リハビリテーションを受けることが出来ます。

### 3, 回復期リハビリテーションは どのようなことをするのですか?

リハビリには、理学療法、作業療法、言語療法の3つのリハビリがあります。

そして、それぞれに専門の療法士が治療に当たります。

①理学療法とは、体の基本動作能力(起立、歩く等)を回復させるために、関節の運動や筋力強化の運動や、温熱・電気刺激・マッサージ等を行います。

②作業療法とは、日常生活動作、心理・社会的能力を、その患者さんのニーズに合わせて回復させるリハビリです。

③言語療法とは、構音障害(発声・発語の障害)や、失語症(喋ったり、理解することが出来ない状態)や嚥下障害に対して、発声・発音器官の運動能力の回復や、話す・聞く・読む・書くといった能力の回復や、嚥下機能の回復を図るリハビリです。

### 4, 済生会吉備病院のリハビリテー ションはどのようなものですか?

済生会吉備病院には、4階にリハビリ専門病棟である「回復期リハビリテーション病棟」があり、40床あります。3階には「一般病棟」と「亜急性期病棟」があり、35床あります。回復期リハビリテーションはもちろんですが、一般病棟・亜急性期病棟に入院の患者さんでリハビリが必要な方には、リハビリをしています。4階回

復期リハビリテーション病棟には、専従療法士が16名、3階病棟には7名の専従療法士がリハビリ治療にあたっています。また、言語療法士も2名います。

また、当院のリハビリは多職種の専門家(医師・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー)でチームを作りいろいろな面から患者さんのリハビリをサポートするように、チーム・アプローチを行っています。入院後の早期の症例検討会や、定期的な症例検討会を多職種者が参加して行い、入院患者さんの機能回復に向けてチームとして治療しています。また、退院後の維持期の治療に向けて「家庭訪問」をして実際の社会生活における問題点を把握し、協議し、改善してスムーズに家庭生活に戻れる様にしています。また、併せて退院時の服薬指導や栄養指導も行って社会生活に向けて総合的にサポートしています。

このように済生会吉備病院のリハビリ機能は充実しているのです。リハビリを頑張っているのです。

●図

#### 急性期病院

(病気の治療・急性期リハビリ)

#### 回復期 リハビリテーション病院

(回復期リハビリテーション)

#### 維持期リハビリテーション (自宅・施設)

(デイサービス等でのリハビリテーション)

# 理学療法士 (PT)



リハビリ=専門職による機能回復訓練ととらえられることも多いですが、「リハビリテーション」ということばには広い意味があります。「リハビリテーション」(Rehabilitation)は、re(再び、戻す)とhabilis(適した、ふさわしい)から成り立っています。つまり、単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリテーションなのです。

それには、理学療法士(PT)や作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)のような専門職だけでなく、さまざまなスタッフが関与し、医師、看

護師、社会福祉士(MSW)と共にチーム一丸となって家庭復帰や社会復帰を目指して働きかけていきます。

理学療法では病気やけがにより、日常生活に支障をきたした方々に対して、起き上がり、歩行など基本的な動作能力の回復を図るといった、主に身体的なリハビリテーションを行います。

運動療法:手足の関節の動きを良くしたり、筋力を強化させたりします。

物理療法:温熱、電気などの刺激を用いて、痛みの軽減などの治療を行います。

日常動作(活動)訓練:歩行や階段

の昇り降りなどの、実際の生活に沿った訓練を行います。

当院の特徴としては、回復期リハビリテーション病棟もあり、集中かつ充実した訓練を提供させて頂いています。そして何より自宅復帰を考え、ケアマネージャーや業者さんを含めリハビリスタッフ、社会福祉士と患者さんもお連れして自宅に訪問させて頂いています。手摺の設置や段差解消等の住宅改修や福祉器具のレンタルについての提言をし、住宅訪問後は自宅での生活を見据えた練習も取り入れ一日も早く自宅での生活が安全におくれるよう自宅退院に向けてリハビリに取り組んでいます。



写真左から  
1.歩行訓練 2.階段昇降訓練  
3.屋外歩行訓練 4.下肢筋力強化

# 作業療法士(OT)



現在吉備病院には10名の作業療法士がおり、入院されている患者さんを中心にリハビリを行っています。若いスタッフが多くとても明るい雰囲気です。

さて作業療法といわれてもなかなかどのようなリハビリをするのかわからない方も多いと思います。作業療法のことを略してOT (Occupational Therapy) という場合もあります。ここでは簡単に吉備病院での作業療法部門について紹介したいと思います。

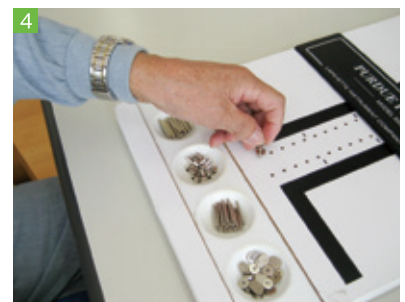
入院された患者さんの多くは、

病気や怪我により、その人らしく今までの生活を送ることが困難になります。作業療法では、その人らしい生活の再獲得、また新たな生活を送ることが出来るように援助していきます。

実際に援助する方法として、①機能訓練(手や足を動かす練習、座る練習、立つ練習等)、②身の回りの動作の練習(食事、トイレ、着替え、お風呂、家事の練習等)、③理学療法士と共に住環境の整備や福祉用具の紹介・提案、④患者さん、およびご家族への動作方

法や注意点の説明等を行っています。そして、退院後の生活にスムーズに移行するために、他部門のスタッフと協力して、出来る動作を増やしていくように働きかけています。また、退院前にはリハビリテーション室内にある訓練用の台所を使用して料理の練習を行うこともあります。

今後も患者さんへより良いリハビリを提供できるよう努めていきます。



写真左から 1. 上肢筋力強化、立位バランス訓練 2. 調理・家事動作訓練 3. 入浴動作訓練 4. 巧緻動作訓練

●済生会吉備病院のリハビリ紹介

# 言語聴覚士(ST)



言語聴覚士はSpeech-language hearing Therapistの頭文字をとってSTと略称されています。簡単に言えば、ことばを聴いたり話すといったコミュニケーションに問題をもつ方や、ごはんを食べる際にむせるなど飲み込みが難しい方に対して、検査・評価を実施し個々に応じた訓練・指導など支援を行う専門家です。

“会話をする”“ごはんを食べる”など、誰も日々当たり前のように行っていることが、脳卒中などの病気や交通事故による頭部外傷などで難しくなることがあります。例えば、ことばを聴いて理解できない・物の名前が思い出せない・

文字の読み書きが難しい(失語症)、呂律が回らない(構音障害)、声がかすれる(音声障害)などのことばの症状や、気が散りやすい、約束が覚えられないなど高次脳機能障害と呼ばれる症状を呈することがあります。そのような方に対して、退院後の社会生活や職業復帰がよりスムーズに行えるよう専門的な訓練・指導を行っています。

また、飲み込みが難しい方には安全に食べる方法や食事内容を検討したり、肺炎などの病気により点滴や鼻からの管で栄養管理を行っている方に対しても、再び口から食べることができるよう評価・訓練を行っています。さらに必要

に応じて、医師らとともに嚥下造影検査(レントゲン透視下で食べ物食べる様子を観察し評価する検査)を行い、食べ物が気管に入っていないか確認したり、安全に食べるための方法を探っていきます。

当院には言語聴覚士が2名在籍しており、より自分らしく豊かな生活が送れるよう、コミュニケーションや飲み込みに問題をもつ方とそ



写真左から 1.言語訓練 2.高次脳機能訓練 3.摂食嚥下訓練 4.コミュニケーション・エイド

広報委員会でテーマを検討し、1年に数回『健康教室』を開催しています。毎年恒例の「高松農業高校 こぶたちゃんの芸」「高松中学校 吹奏楽部のみなさんによる演奏会」や、当職員による「腰痛教室」「介護のはなし」など、地域の方々との交流を楽しみに行っています。参加は無料ですので、ぜひお越しください!

## 癒しの環境づくり

総看護師長／名越正子

平成18年4月18日竣工式の日、院内16カ所に「いけばな」が華を添えてくれました。縁あり、以来5年にわたり、受付の会計カウンター、2階エレベーター前、病棟、最近では、提案箱のご意見より、レントゲン室横に、色のある季節の花をいけて頂いています。先生は、小原流（雅号）田中錦幸先生です。昭和41年に入門され45年、岡山支部幹部・一級家元教授資格を取得され、多岐にわたりご活躍されておられます。

毎週水曜日の17時より、図書室でいけて頂き、私が、各部署にお届けしています。病棟では夕食時で

食堂に患者さん、ご家族の方がおられ、時に声をかけて頂けます。また、2クールめの透析を終えた患者さんがお帰りになる時間でもあり、エレベーター待ちの間お花談義をされる方もあり、楽しみのひとつになっています。

私の部屋に飾ってあるのが、その週の花材です。

先生は、ご自宅の庭からも花材を持参して下さり、季節と自然を感じながら、会話も楽しみ、私も癒されています。

当院にお越しの折には、ちょっと2階へ立ち寄り、エレベーター前の右へ目をやったださると、とても嬉しいです。



小原流 田中錦幸先生



平成22年度 第4回健康教室

## “高松中学校吹奏楽部 院内コンサート”を行いました!

放射線科主査 今井章人

一点(タクト)に集中する中学生の真剣な眼差し。久しぶりに、心が洗われる気がしました。

平成23年2月26日(土)13時より高松中学校吹奏楽部によるコンサートが、当院のリハビリテーション室にて行われました。

入院患者さんはもちろん、ご家族・ご父兄・町内の方々など80人ちかくが集まって下さり、演奏だけではなく、ゲームなども交えて楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

何事にも一生懸命に取り込む姿は、人を感動させるものだと、改め

て生徒さんたちから感じました。

最後に金の卵たちが金賞(優勝)を獲得することを祈っています。

(演奏曲目 笑点・ドリフ・ちびまるこちゃん・川の流れるように・トイレの神様など)

## 平成23年度岡山市健康診査・岡山市国民健康保険特定健康診査の申し込みを受付しています。

今年も岡山市の健康診査が始まりました。当院では、現在お申し込みを受け付けています。この機会に健康診査を受けて、生活習慣病のチェックや健康管理に役立ててみませんか。

### 岡山市健康診査

#### 【対象】

後期高齢者健診、生保健診、**がん検診**（胃がん・子宮がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス・大腸がん・乳がん）

#### 【当日必要なもの】

健康手帳（お持ちでない方は、岡山市保健所、各保健センター、出張所等で事前に交付を受けてください。）、**岡山市健康診査カード・保険証、無料券・クーポン券**（交付を受けている方）・**済生会吉備病院診察券**

※無料券・クーポン券をお持ちの方でも、当日受付時に券のご提示のない場合は、後からお持ちになっても無料券・クーポン券での扱いが出来ませんので、ご注意ください。

※健康手帳をお忘れの場合は、健診を受けることが出来ません。必ずご持参ください。

### 岡山市国民健康保険特定健診

#### 【当日必要なもの】

特定健康診査・**保健指導助成券**（交付を受けている方）、**国民健康保険証、済生会吉備病院診察券**

※助成券をお持ちの方でも、当日受付時に券のご提示のない場合は、後からお持ちになっても助成券での扱いが出来ませんので、ご注意ください。

## 【実施機関】 平成23年6月1日(水)～12月28日(水)

### 【お申し込みについて】

#### 要予約

- 後期高齢者健診・岡山市国民健康保険特定健診・生保健診…月～金、約2名
- 胃がん検診…月～金、2名（内容：胃レントゲン）
- 子宮がん検診（婦人科）…水曜日午前中

#### 予約不要

- 肺がん検診…月～金（内容：胸部レントゲン）
- 前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診…月～金（内容：採血）
- 大腸がん検診…月～金（内容：検便）
- 乳がん検診（外科）…木曜日  
（婦人科）…水曜日午前中

※岡山市国民健康保険特定健診は、岡山市より郵送される「受診券」とお手持ちの「健康手帳」を当院へ持参していただき予約をお取りいたします。お忘れの場合は予約をお取り出来ませんのでご了承ください。なお、予約をお取り出来る時間は12時～15時に1階受付をお尋ねください。

※他の検診予約は電話予約でも可能ですが、当日込み合うことが予想されますので、事前に検診票を取りに来ていただくことをおすすめしています。その場合、一緒に健康手帳をご持参ください。

※予約不要の検診も予約を取られた時に検診票をお持ち帰りいただくことは可能です。お気軽にお尋ねください。

### 平成23年4月1日 仁科恭一郎 先生着任



光生病院出向より吉備病院内科に勤務となりました。管理的仕事から解放され現場で患者さんとの対応に新鮮さを感じています。皆様と電子カルテに助けられつつ、肝疾患、高齢者と向き合っています。

### 提案箱を設置しました。

院内の1、3、4階に提案箱を設置しています。病院に対するご意見・ご苦情などございましたら、お気軽に投書してください。改善に役立てます。



## 東日本大震災の医療救護班に参加して

院長 高田眞治

4月7日から10日まで岡山済生会総合病院の医療救護班に加わり岩手県大船渡市に行ってきました。7日朝、岡山を発ち、伊丹から空路いわて花巻空港に飛び、タクシーで約1時間半、救護班の基地となっている遠野市に入りました。

到着した日の夜11時32分、ちょうど寝入ったところに震度5強の地震が襲いました。今まで経験したことのない強さで大変怖い思いをしました。地震の後翌日夕方まで停電が続き、電気が使えないという不便さも体験しました。

8日から10日まで遠野を基地に毎日大船渡に移動し公民館と中学校で診療にあたりました。高台からみる大船渡の平地部は津波ですべてなぎ倒されており、移動の際、道の両側にはテレビで見たのと同じ瓦礫の山が続いていました。病気としては、震災後1カ月近くになるため内科疾患が主で、花粉症が一番多く、次いでかぜや、高血圧、糖尿病の慢性疾患でした。被災者の方たちは皆優しく、このような時に自分で作った炊き込みご飯を診療班に差し入れてくださった患者さんもおられました。また、避難所の子供たちも元気で診療班の遊び相手になってくれました。

岡山に帰って余震のないことにほっとする一方、遠い国だった「東北」が身近に思えてきました。



## CR (Computed Radiography)

CR 画像は今までのアナログ画像と違い、人体を透過した X 線をデジタル化した画像です。被ばく線量の低減や環境(現像・定着液が不要)に優しい装置となっています。またデジタル画像は、撮影後もいろ

いろな画像処理が可能です。



## CT (Computed Tomography)

CT 画像は体の輪切り画像というイメージがあると思いますが、最近ではコンピュータの進歩と検出器の多列化(1~320列)によりあらゆる方向の画像が作成できるようになりました。

当院の CT は 4 列です。



医療

+

知識

No.2

## 編集後記

梅雨真っ盛りの時期ですが、みなさま体調はいかがでしょう?この時期は体調だけでなく、大雨にも注意が必要だそうですが、雨の日の運転には気をつけたいですね。さて、今回は当院の特徴の一つであるリハビリ特集でした。今後も色々な部署の特集がありそうです。今まで知らなかった意外なことがわかるかもしれませんね。みなさんは是非チェックしてください!(N.A)